

上越教育大学 (新潟県)

日本語及び日本文化に関し、体験を通して理解を深めます。

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 特徴と歴史

上越教育大学は、1978年10月に創設された大学です。

初等中等教育教員に高度な学習と研究・研鑽の機会を提供することを趣旨とする大学院修士課程と初等中等教員を養成する学部を持ちます。本学の理念は学校教育に関する理論的・実践的な研究と教育実践の推進にあるため、理論的専門科目はもとより、各教科の実践的な実習科目に至るまで開講されています。

また、2008年(平成20年)4月1日の教職大学院制度発足に合わせ、大学院学校教育研究科に、専門職学位課程(教職大学院)を設置しました。教職に関する精深な学識を身につけ、教育現場に生起する問題や事象について即時的に判断し、対応する力量を有する教育者を育成することを目的としています。

2) 教員・学生数等 (2024年5月現在)

教員数：131人

学生数：

学部学生：671人

大学院学生：455人



【冬景色の上越市】

② 国際交流の実績

・外国人留学生在籍者数：27人 (5か国・地域)

・交流協定校：10校 (7か国・地域)

ハ爾濱師範大学 (中国)

北京師範大学 (中国)

内蒙古民族大学 (中国)

韓国教員大学校 (韓国)

国立嘉義大学 (台湾)

国立清華大学 (台湾)

アイオワ大学 (アメリカ合衆国)

チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学 (トルコ)

カレル大学 (チェコ)

ブランデンブルク工科大学 (ドイツ)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2024年：留学生数27人、日研生1人

2023年：留学生数30人、日研生1人

2022年：留学生数31人、日研生1人

④ 地域の特徴

上越市は、歴史的な文化財が豊富であるとともに自然環境にも恵まれ、雪国を代表する都市として有名です。

東京からは、北陸新幹線を用いて約2時間で来ることができます。



【正面から見た上越教育大学】

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

② 研修・コースの特色

・留学生一人ひとりのニーズを尊重しながら、日本語及び日本文化に関し、体験を通して理解を深めることとしています。

・留学生の興味・関心を考慮して、受入教員や係関係教員の協力を得てカリキュラムを編成しています。

③ 受入定員

3名 (大使館推薦2名、大学推薦1名)

上越市への経路



④ 受講希望者の資格、条件等

日本語・日本文化研修留学生となることを希望する者は、以下の条件を満たす者とします。

- 資格：来日時時点で外国（日本以外）の大学の日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在籍する者。ただし、1年生は対象外。
- 日本語能力：日本語能力試験N2又はJ. TEST実用日本語検定C級に相当する日本語力を有する者。
- 日本語による授業を理解し、日本語の参考文献を読み、日本語でレポートを書き、口頭発表を行う能力のある者。

⑤ 達成目標

受入教員と日本語教員の指導のもとで研究を進め、一年間の研究成果を発表し、修了レポートを作成・提出します。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2025年10月上旬～2026年9月下旬
（在籍期間：2025年10月1日～2026年9月30日）

⑦ 奨学金支給期間

2025年10月～2026年9月

⑧ 研修・年間スケジュール

※2024年度実績のため、実施内容が変更になる場合があります。

- 9月：渡日（下旬）
- 10月：10月入学留学生オリエンテーション
交通安全教室
大学祭参加
学長と入学留学生との懇談会
- 11月：世界を語ろう
- 12月：留学生との意見交換会
留学生が語る／留学生と語る会
- 2月：短期外国人留学生の附属学校等授業参観
留学生スキーのつどい
- 3月：国際交流のつどい
- 4月：4月入学留学生オリエンテーション
- 5月：学長と入学留学生との懇談会
- 6月：上越地域の歴史・文化等に触れる町歩き
- 8月：日本文化・歴史体験及び地域交流に関する研修
短期外国人留学生成果発表会
- 9月：短期外国人留学生修了証書授与式
帰国（中旬）

⑨ コースの修了要件

以下の修了要件を満たした者には、修了証書を授与します。

- 学部開講科目の中から半期12科目（日本語補講3科目含む）以上受講し、単位を取得する。
- 受入教員と日本語教員の指導のもとで進めた一年間の研究成果を発表し、修了レポートを提出する。
また、成績証明書を発行します。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

必修科目・選択科目ともに、前期・後期各期15週開講します。授業はすべて日本語で行います。

入学後、以下の科目以外に希望する科目があれば、追加して受講することができます。受講科目については、受入教員と相談のうえ、決定します。

2) 研修・コース開設科目

※2024年度科目のため、科目名等が変更になる場合があります。

I) 必須科目・内容

学校教育学部開設科目：

・日本語・日本文化研究セミナーA/B

日本語補講科目：

- ・日本語文献講読A/B
- ・日本語レポート作成A/B
- ・日本語研究発表A/B

II) 選択科目・内容

学校教育学部開設科目：

- ・日本事情：
日本国憲法／法律学文献講読／経済学概説／
現代社会と学校
- ・日本文化：
書の表現と文化／彫刻表現 I
- ・日本の文学：
国文学講読B／国文学演習B

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

学校参観

本学の附属小学校・中学校を始めとして学校参観を実施しています。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

- ・特別聴講学生として、一般学生とともに受講し、単位を取得することができます。
- ・日本語・日本文化研究セミナーA/Bでは、一般学生とともにゼミナールに所属し、学びます。

～ 日本文化・歴史体験に関する研修 ～



～ 留学生が語る／留学生と語る会 ～



⑪ 指導体制

- ・担当教員
受入教員が、留学生一人ひとりに、研究指導及び履修指導を行います。
- ・日本語指導
本学教員及び外部講師による日本語指導により、言語能力から生じる不安を取り除きます。
- ・担当事務
研究連携課国際交流・地域連携チームの職員が、日本での生活全般の相談に応じます。

～ 雪国スキー体験 ～



■ 宿 舎

※2024年度実績のため、宿舍費等が変更になる場合があります。

キャンパス内の緑に囲まれた一画に、留学生及び外国人研究者と日本人学生との混住方式による国際学生宿舎があります。

留学生用は単身用居室15室、夫婦用居室3室を用意しています。

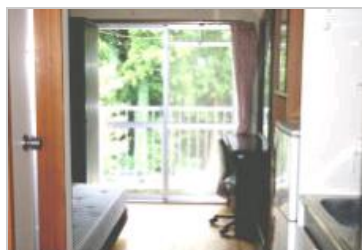
設備

単身室（宿舍費5,900円/月・共益費1,500円/月）
ミニキッチン、トイレ、給湯設備、冷暖房用空調設備、シングルベッド、片袖机、回転椅子、書棚、洋服ダンス、吊り書棚、食器棚、冷蔵庫、電気スタンド

夫婦室（9,500円/月・共益費1,500円/月）
キッチン、ユニットバス、トイレ、給湯設備、冷暖房用空調設備、シングルベッド2、片袖机、回転椅子、書棚、応接テーブル、応接イス、食卓、テーブル、食卓イス、食器棚、整理ダンス、玄関収納庫、洗濯機、乾燥機、冷蔵庫、電気スタンド、クローク



[国際学生宿舎 外観]



[国際学生宿舎 室内]

■ 修了生へのフォローアップ

修了生に対し、本学が毎月配信している「国際交流ひろば」や「留学生ネットワーク」とおして情報提供を配信しています。

～ 短期留学生修了証書授与式 ～



■ 問合せ先

<担当部署>

上越教育大学

研究連携課 国際交流・地域連携チーム

住所：〒943-8512

新潟県上越市山屋敷町1番地

TEL : +81-25-521-3299 (直通)

FAX : +81-25-521-3621

Email : ryugaku@juen.ac.jp

<ウェブサイト>

上越教育大学ホームページ

<https://www.juen.ac.jp/> (日本語)

<https://www.juen.ac.jp/contents-e/index.html>

(英語)

日研生コースガイド

<https://www.juen.ac.jp/050about/030internat/040recep>